

日本地誌略
萬國地誌略

首卷地理總論

小林義則編輯

全

179
6
319

大日本教育會館圖書			
第	三	第	三
室	一	架	一
冊	號	架	國

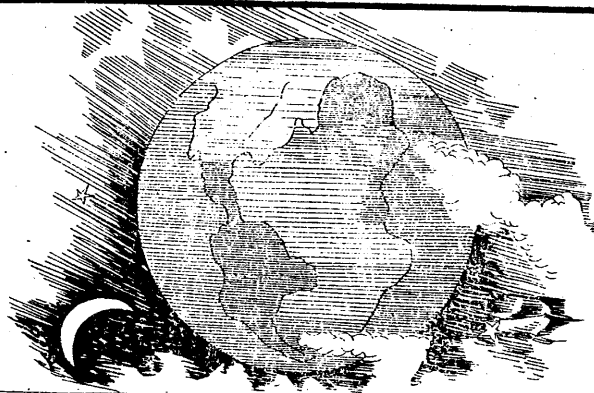
K110,25
47

B 5

771



空中ニアル地球ノ圖



トシ海陸山川ノ位置等ノ如ク自然ノ地勢及ビ地質ニ關スルモノヲ地理ノ部トシ各國ノ境界及ビ人民風俗ノ沿革等ニ關スルモノヲ邦制ノ部トス

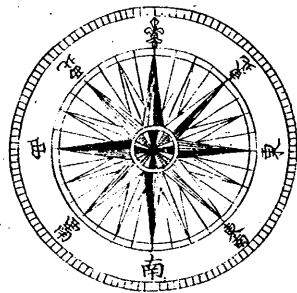
方位

地球上ニ方位ヲ定メテ日出ル方ヲ東トシ日ノ入ル方ヲ西トシ又東ニ面シテ右ノ

方ヲ南トシ左ノ方ヲ北トナス又其中間ノ方位ヲ名ヅケテ東南東北西南西北トス此ヲ四方八方ト謂フ又其八位ノ間ヲ細分シテ總テ三十二方位トシ各東々南南々西西々北北々東等ノ稱アリ而シテ此方位ヲ示サンニハ羅針盤ト稱スル器アリ其製圓盤ノ周圍ニ右ノ三十二位ヲ刻シテ其中心ニ尖頭ノ細柱ヲ樹テ其柱上ヘ磁石ト名ヅクル鐵針ヲ自由自在ニ搖キ得ベク



羅針盤ノ圖



裝置セリ而シテ此針ニハ一
種ノ作用アリテ其兩端ハ必
ズ常ニ南北ヲ指ス故ニ之ニ
因リテ盤ノ周圍ニ刻セル三
十二方位ヲ推シテ各地ノ方
位ヲ測知スルヲ得ルナリ
又上下遠近ノ名ヲ設ケ人物地面ニ立ツク頭ノ
方ヲ上下稱シ足ノ方ヲ下ト稱シ吾ガ體ヨリ間
ノ離レタル所ヲ遠クト謂ヒ體ニ接シタル所ヲ
近クト謂ス

天文ノ部

地球及虚線

地球ハ一ツノ遊星ニシテ其形テハ殆ント橙子
ノ如クニ扁圓ナリ地學家ハ其中心ニ一ツノ虚
軸ト其面ニ縦横ニ許多ノ虚線トヲ設ケテ其旋
轉ノ狀ト各處ノ位置及ビ距離等ヲ測リ定ムル
ニ便リス

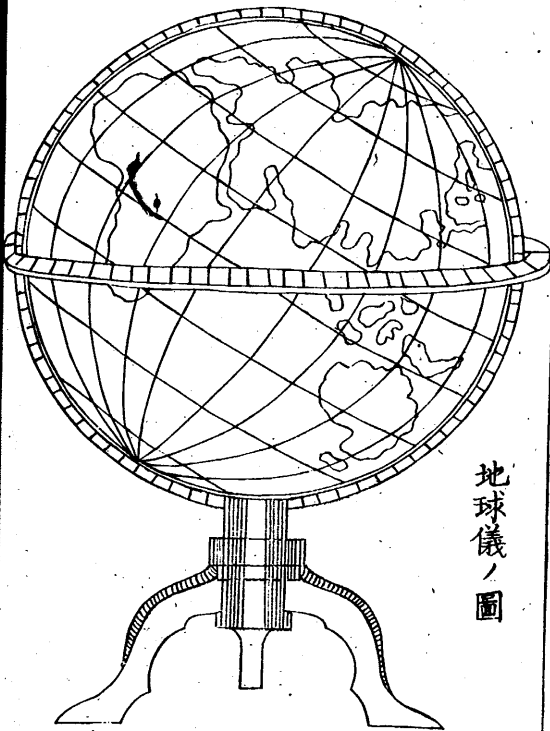
廣表

地學家ノ說ニ地球ノ周圍ハ大約一萬二千里餘
ニシテ其中徑ハ東西三千七百二十里餘南北三

千七百零八里餘アリト云フ、

地圖地球儀及其方位

今地球ヲ
小ナル模
形ニ造リ
テ之ヲ臺
上ニ裝置
シタル物
ヲ地球儀
ト謂ヒ、又



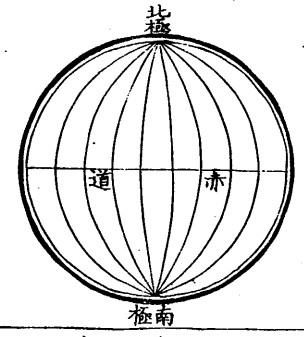
地球儀ノ圖

其模樣ヲ紙面ニ圖セル物ヲ地圖ト謂フ、皆北ヲ
上トシ、南ヲ下トシ、右ヲ東トシ、左ヲ西トシ、又地
球儀及ビ地圖ノ上下ノ二點ヲ北極南極トシ、兩
極ヨリ其中心ヲ貫キタル軸ヲ地軸ト謂フ、

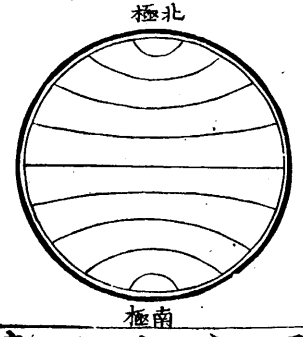
圈及線度

地球ノ面ハ、兩極ヨリ引キ連子タル線ヲ子午線
又經線ト謂ヒ、其正中ヲ橫截シテ周レル線ヲ、赤
道ト謂ヒ、其南北ニ並行セル線ヲ、緯線ト謂フ、此
縱橫線ヲ以テ、全球面ヲ三百六十度ニ分テ、一
度ヲ六十分トシ、一分ヲ六十秒トシ、其經線ノ間ヲ

圖ノ線經及線道赤



圖ノ線緯



經度ト稱シ、其緯線ノ間ヲ緯度ト稱ス、

緯度ヲ數ウルニハ、赤道ヲ零度トシテ、是ヨリ南北ヘ幾度ト算シ、經度ヲ數ウルニハ、各國皆、其京城或ハ天文臺ノ線度ヲ本トシテ、是ヨリ東西ヘ、各幾度幾分幾秒ト起算スルナリ、即チ我日本國ノ經度ハ、東京城ヲ本トシ、又、其北緯ニ

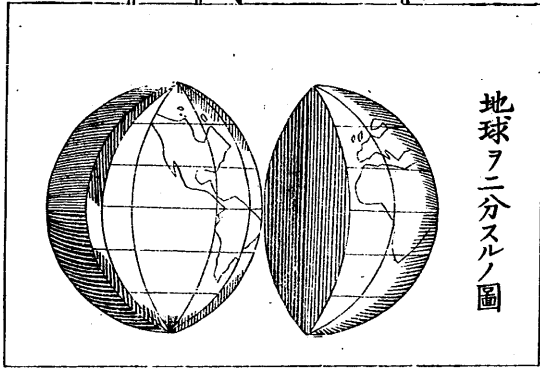
十六度ヨリ、四十五度七十分ノ間ニアルト稱スルガ如キ、亦是ナリ、

又赤道ヨリ南北、各二十三度半ノ所ニ、並行線ヲ劃シテ、其北ノ線ヲ夏至線ト名ヅケ、南ノ線ヲ冬至線ト名ヅク、

右ノ縱横線ニ、大小ノ差別アリ、子午線ト赤道線トハ、大圓ナレ、凡緯線ノ圓ハ、南北極ニ近ヅクニ從ヒテ、漸ク小ニシテ、且ツ其經線相互間ノ距離、狹隘トナルナリ、

地球ノ區別

全球ヲ赤道ヨリ平分スルキハ、其上半即テ北半球ニ、亞細亞、歐羅巴、亞非利加ノ大半、北亞米利加、及ビ南亞米利加ノ小部分ハ、是ニ屬シテ、其下半即チ南半球ニハ、阿西亞、尼亞、亞非利加ノ小半、及ビ南亞米利加、是ニ屬シ、又子午線ヲ以テ、縱ニ平分スルキハ、何レノ地ヨリ分割スルモ、妨ゲナシト雖、凡、普通ノ法ニハ、亞細亞、歐羅巴、亞非利加、阿西亞、尼亞、亞、南半球ニ屬シ、北亞米利加、及ビ南亞米利加、是ニ屬ス

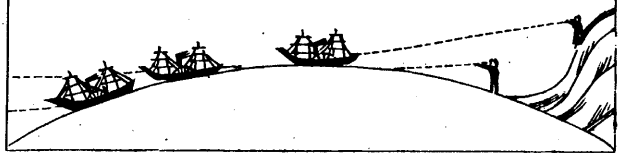


地球ヲ二分スルノ圖

地形

地球ノ全體ハ、極メテ廣大ナルニ由リテ、世人常ニ、其圓形ナルヲ見ズト雖、凡、物理ヲ推シテ、其圓形ナルヲ測知スベシ、例ヘバ、天氣晴和ノ日、海濱ニ在リテ、船舶ノ往來スルヲ見ルニ、其去ル船ハ、先ヅ其船體ヨリ、帆檣ニ至ル迄、漸ク水面ニ没シテ、見得ザルキ、高塔或ハ丘陵ニ登レバ、望遠鏡ヲ用井ズシテ、尚ホ明カニ之ヲ見得ルベク、又其來

圖ノ起隆面海



路ヲ東或ハ西ニ定メテ進行シテ止マザレバ亦

ル船ハ高塔ニ在リテ能ク見得
ルモ海濱ニ至レバ未ダ見ルベ
カラサルガ如ク其距離ノ遠近
ニ關セズ高低ニ因リテ隱現ス
ル片ハ乃チ水面ハ真ノ平坦ナ
ルニアラズシテ穹彎形ナルコ
ト尚ホ圖ノ如キヲ知ルベキナ
リ、

又航海者某ノ港ヲ拔錨シ其鍼

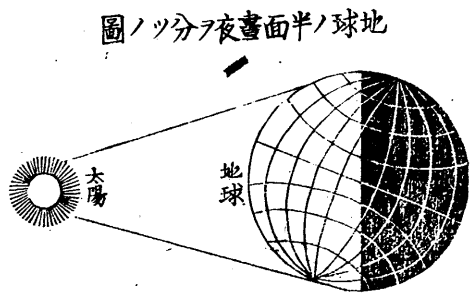
本ノ港ニ還ルヲ得ルモノハ即チ地球ノ圓形
ナルヲ知ルノ一證ナリ、

上ニ説ク如ク地球ハ圓形ナルヲ以テ此方ヨリ、
彼方ヲ論スル片ハ彼此互ニ其下底ノ所ニ立ツ
者アリ之ヲ合跗ノ國ト謂フ我日本ト北亞米利
加ノ合衆國ノ如キハ即チ合跗ノ國ナリトス故
ニ各地皆地球ノ中心ヲ以テ下トシ其頭上ニ戴
ク所ヲ天トナス然リ而シテ萬物皆其地面ニ安
ジテ他ヘ轉落飛散セザルモノハ乃チ地球ノ引
力ニ由ルモノナリ、

地球ノ旋轉晝夜及四時ノ變化

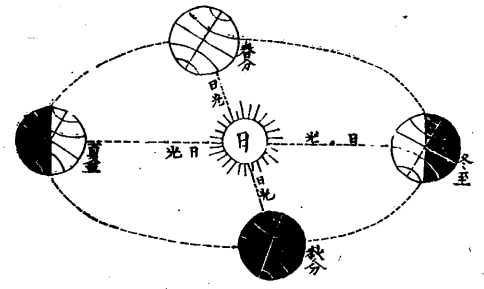
地球ハ暫クモ静止セズレテ常ニ二種ノ運轉ヲ爲スモノナリ、乃チ其軸ヲ心トシテ、西ヨリ東ニ向ヒテ二十四時間毎ニ一回旋轉スルヲ日動ト謂フ、此際ニ其太陽ニ面スル處ヲ晝ト稱シ、之ニ背スル處ヲ夜ト稱ス、又太陽ノ周圍ニ楕圓ノ軌道ヲ取りテ、一年即チ三百六十五日五時四十分ノ間ニ一回運轉スルモノヲ年動ト謂フ、此ノ如ク、日夜迅速ノ運轉ヲ爲スヲ、其地上ニ栖息スル者、敢テ之ヲ知ラスレテ、他ノ日星ノ却テ地球ヲ

周回スルカ如キヲ覺ウルモノハ、猶ホ大ナル汽車或ハ船艦上ニアル人、其窓戸ヲ閉ヂテ静止スレバ、汽車及ビ船艦ノ進行スルヲ知ラズレテ、又其窓戸ヲ開ケバ、山嶽草木ノ皆我背後ニ卻行スルヲ見ルガ如キナリ、又晝夜ノ長短及ビ四時寒暑ノ差異ヲ生ズル所以ノモノハ、左ノ圖ニ示セル如ク、地球ト軌道トノ方向鉛直ナラス



地球ノ球面晝夜ノ分ツノ圖

地球軌道運行四時之變圖



レテ、二十三度半ノ交角ヲナシ、其太陽ニ面シテ、光リト熱トヲ受クルニ、直射斜射ノ別アルニ由リテナリ、上圖ニ於テ地球(甲)ノ邊ニアル片ハ、北半球ハ其光熱ヲ受クルヲ多ク、即チ夏ニシテ日長ク氣候暑ケレド、(乙)ノ邊ニアル片ハ、光熱ヲ受クルヲ少ナク、即チ冬ニシテ日短ク氣候寒シ、又(丙)及(丁)ノ邊ニアル片ハ、太陽其赤道上

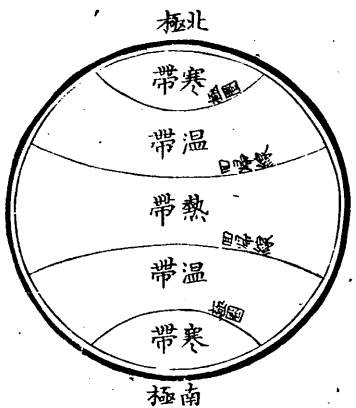
ニアリテ、其光熱ヲ受クルヲ多少相齊シク、即チ春或ハ秋ニシテ、晝夜長短ナク、氣候暖若シクハ涼ナリ、但シ南半球ノ地ニ於テハ、其春夏秋冬、全ク北半球ノ地ト相反ス、是ヲ以テ、氣候ノ寒暑及ビ晝夜ノ長短相變更スル所以ハ、地球ガ其軌道ヲ周回スルノ際ニ、太陽ヲ距ルノ遠近ニ關セスレテ、太陽ノ光ト熱トヲ受クルニ、直射斜射ノ別アルニ由ルヲ推知スベキナリ

五帶ノ區別

地球ノ表面ヲ區別シテ、五帶トナス、即チ赤道ヲ

リ南北各二十三度半ノ處へ、緯線ヲ劃シテ、之ヲ
 回歸線ト名ヅク、北半球ノ地ニ於テハ、其北ニ劃
 セシ線ヲ夏至線ト稱シ、南ニ劃セシ線ヲ冬至線
 ト稱ス、但シ南半球ノ地ニ於テハ、其冬夏ノ稱呼
 之ト相反ス、此ニ至線ノ間ヲ熱帶ノ地ト謂フ、是
 地方ハ太陽ノ光及ビ熱ヲ鉛直ニ受クルヲ以テ
 晝夜ノ長短周年殆ント相均シク、其暑氣極メテ
 強クシテ、氣候ハ常ニ夏ナリ、
 又南北兩極ヨリ、各二十三度半ノ處ニ、緯線ヲ劃
 シテ、其内ヲ寒帶ト稱ス、此地方ハ太陽ノ光熱ヲ

地球五帶ノ圖



横ニ受クル故ニ、寒氣甚シク、其氣候ハ冬夏ノ二季ニ

分レテ、冬季ハ常ニ闇夜ニシテ、日光ヲ見ルコトナク、夏季ハ常ニ白日ニシテ、太陽没スルコトナシ、

又ニ至線ト兩極線トノ間ヲ、溫帶或ハ中帶ト稱ス、此地ハ太陽ノ光熱線ヲ斜メニ受クルニ由リ、四季ノ變及ビ晝夜長短ノ小差アリテ、其寒熱共ニ酷烈ナラス、實ニ吾人

ノ生息ニ、適好ノ處ナリ、

生産

五帶ノ動植物

都テ禽獸草木ノ如キモ、五帶ノ地方相同ジカラズシテ、熱帶地方ハ長大ナル草木、常ニ多ク繁茂シテ、又能ク實ヲ結ビ、且ツ猛獸毒蛇多

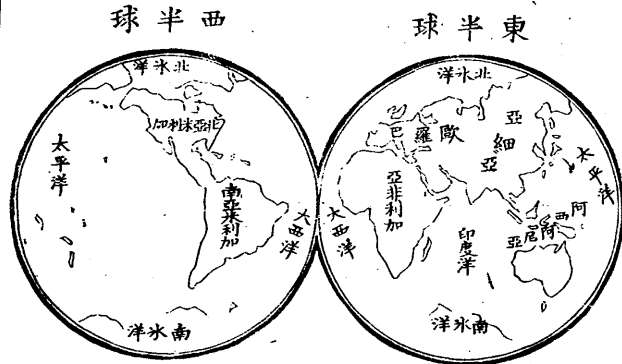


ク蕃息ス、其中最モ著名ナルモノハ、柳樹芭蕉橙及ビ象虎獅子駱駝、鵠鳥鱷魚蟒蛇等ニテ、寒帶地方ニハ、僅ニ矮小ナル苔菌類及ビ馴鹿、白熊、麝香鼠等ナリ、而シテ、温帶地方ノ草木ハ、熱帶ノ如ク長大ナラザレバ、建築材ノ喬木暢茂シ、果實穀蔬亦年々生熟シ、牛馬鹿鶏等、人間須要ノ物多ク、亦蟲魚ノ類モ少ナカラズシテ、且ツ金石ノ産出モ多シト云フ、實ニ萬有ノ福地ト稱スベキ哉、
地ノ部

地形及成立

地球ハ本、土石及ビ水ヨリ成ル、其表面ハ平坦ナ
 ラズシテ、崎嶇高低ヲ爲ス、猶^ホ橙子ノ面ニ凸凹
 アルガ如ク、其凸處ハ、即チ陸ニシテ、其凹處ニハ
 水ヲ流ツ、全地球面ノ總積、三千三百零七萬九千
 四百方里餘アリテ、水ハ其四分ノ三ヲ占メ、陸ハ
 僅ニ其一ヲ取ル、故ニ、水陸ノ廣狹ヲ比較スルキ
 ハ、水ハ陸ニ三倍スト云フ、其形狀及ビ位置ニ從
 ヒテ、陸ニ、大洲、島嶼、群島、半島、地頸、濱岸、岬角、山嶽、
 丘陵、高原、平野、溪谷、沙漠等ノ名アリ、水ニ、大洋海、
 灣、港、海峽、潮流、河湖等ノ稱アリ、

陸地ノ解

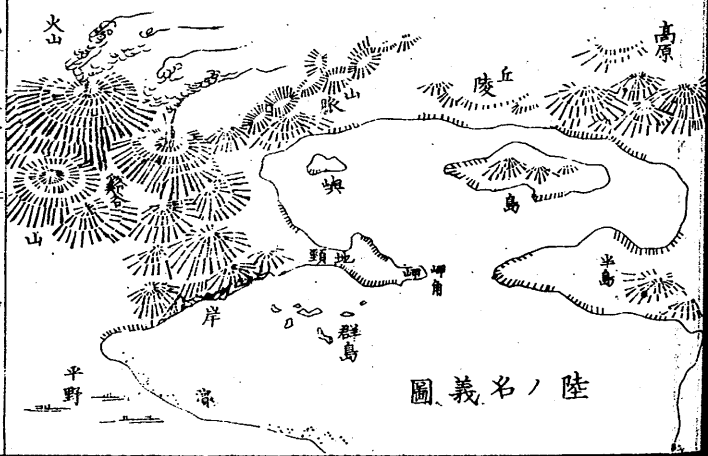


大洲ハ陸地ノ最廣大ナルモ
 ノニシテ、普通ノ法ニ由リテ、
 是ヲ五個ニ區別ス、即チ亞細
 亞、歐羅巴、亞非利加、亞米利加
 及ビ阿西亞、尼亞是ナリ、故ニ、
 之ヲ合稱シテ、五大洲ト曰フ、
 島嶼ハ洲ヨリ小ニシテ、其四
 周ヲ水ノ圍繞セルモノナリ、
 我日本ノ邦、彼英吉利國等ノ

如キハ、其大ナルモノニテ、又印度ノ海島中ニハ、日本ヨリモ廣大ナルモノアリ、而シテ嶼ハ島ノ又小ナルモノナリ、群島ハ、許多ノ嶋嶼、群ヲナシテ、海洋中ニ碁布セ、ルモノナリ、彼印度諸島及ビ我于島ノ如キ、是ニ屬ス、

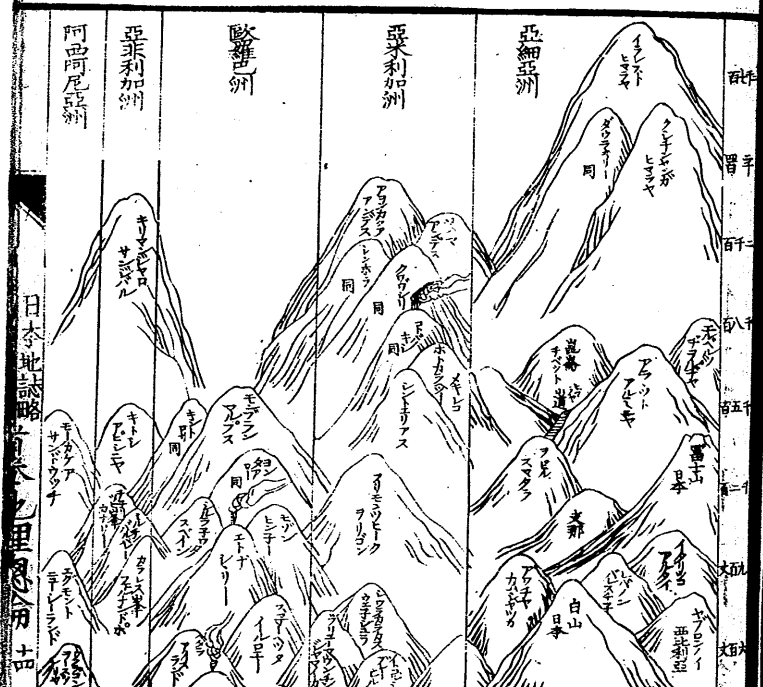
半島ハ、島ノ一方陸地ニ連續セルモノナリ、我能登國、彼以太利、希臘、亞拉比亞、斯干的那維等ノ如キハ、即チ是ナリ、地頸ハ、其左右皆水ニシテ、兩陸地ヲ連接セル一

帶、狹長ノ地ナリ、即チ南北亞米利加ノ間ニアル、巴那馬頸及ビ亞細亞ト亞非利加ノ間ナル、蘇士頸ノ如キ是ナリ、濱トハ、洋或ハ海ニ沿ヒテ、平カナル地ヲ謂フ、岸ハ、濱ノ嶄起シテ、涯ヲナス所ナリ、岬トハ、陸地ノ長ク水中



ニ突出スル山脈ヲ謂フ、
岬角ハ岬ノ突出シタル頭ニシテ又之ヲ崎ト稱
ス亞非利加ノ南端ナル喜望峰及ビ我伊豫國ノ
佐佐ノ如キ即チ是ナリ、

山ハ土石ノ高ク起レルモノナリ、印度ノ喜馬拉
山亞米利加ノ安得山及ビ落機山亞非利加ノヤ
ガ山歐羅巴ノ亞爾伯山ノ如キハ其高大ナルモ
ノニテ我邦ノ富士山ニ殆ント二三倍スト云フ、
山脈ハ群峰相連レルモノニテ或ハ數百千里ニ
互レルモノアリ、前項掲クル所ノ數山及ビ亞細亞



北部ノ亞爾泰
并ニ亞歐ノ境
ニアル烏拉山
脈等ハ其長大
ナルモノナリ
火山ハ常ニ火
烟ヲ噴キ出ダ
スモノナリ、西
々里島ノ埃德
納山及ビ我邦

ノ淺間山ノ如キ是ナリ、

丘陵ハ山ノ較小ニシテ、且ツ低キモノナリ、

谿谷ハ兩山ノ間及ビ山脈ノ中間ニアル、低キ土

地ナリ、

高原ハ丘陵ノ頭上廣平ニシテ麓アル者ナリ、西

藏西班牙墨西哥等ノ如キ、即チ是ナリ、

平野ハ高原ノ漸低キ肥沃ノ地ナリ、歐羅巴ノ萊

因河ヨリ東北部亞細亞ノ北部及ビ南亞米利加

ノ地方ニ最モ多シ、又和蘭國ノ如キハ海面ノ平

準ヨリ、却テ低キ故ニ、恒ニ隄ヲ築キテ海水ノ浸

入ヲ防グ地アリ、此ヲ低地ト謂フ、

砂漠ハ、砂磧磽确ニシテ、水草ナキ曠地ナリ、亞非

利加洲ノ内地及ビ亞拉比亞國、并ビニ支那ノ北

部等ニ多シ、

水ノ解

大洋トハ、廣大ナル海水ノ稱ナリ、之ヲ分チテ、左

ノ五大洋トス、

太平洋ハ、亞細亞洲阿西亞亞洲ト、亞米利加洲

ノ間ニアリ、是ヲ、五大洋中ノ最大ナルモノトス、

大西洋ハ、歐羅巴洲亞非利加洲ト、亞米利加洲ノ

間ニアリ、

印度洋ハ印度ノ南ニテ亞非利加洲ノ東阿西亞
尼亞洲ノ西ニアリ

南北氷洋ハ各極園以内ノ海洋ノ稱ナリ此兩氷
洋ハ氣候沍寒ニシテ其海水常ニ氷ヲ結ブ故ニ
是名ヲ得タリ、

海トハ大洋ノ一派ニテ陸地ニ近キ處ヲ謂フ日
本海支那海地中海波羅的海白海黒海紅海黄海
等ノ如キ是ナリ又内地ニ在リテ大洋ト連接セ
ザルモノアリ裏海亞拉海等即チ是ナリ、

灣ハ濱岸ニ沿テ海水

ノ彎入シタル處ヲ謂フ

我東京灣大坂灣ノ如キ

是ナリ而シテ其最モ著

名ナルモノヲ波耳西亞

灣墨西哥灣等トス、

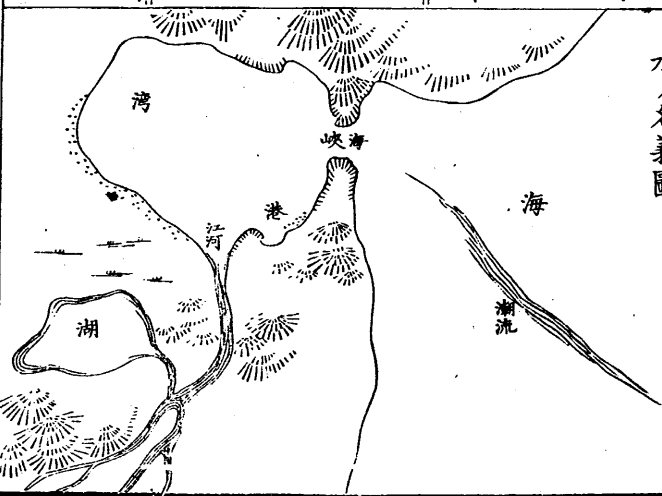
港ハ海水深ク陸地ニ入

リテ懷ヲ成シ船舶ノ碇

泊ニ便ナル處ナリ我橫

濱港及ビ和蘭ノ安特坦

水ノ名義圖



日本地理略

ノ如キ是ナリ、

海峽トハ、陸地ノ間ニアル狹キ海水、即チ我陸奥

ト渡島トノ間ナル薩合連峽ノ如キ處ヲ謂フ、其

最モ著名ナルモノハ、亞細亞亞米利加兩洲間ノ

白令海峽及ビ地中海ノ大西洋ト連ナル所ノ日

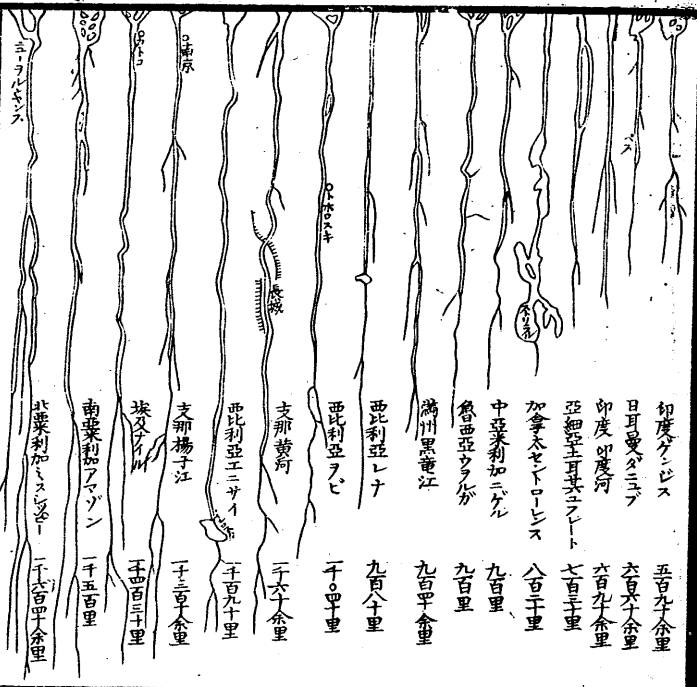
拉太海峽ノ如キ、是ナリ、又歐羅巴大陸ト英吉利

トノ間ヲ海峽ト稱ス、

潮流ハ、海洋中ニ一定ノ方向ヲナシテ流ル、モ

ノナリ、其海峽中ニアルモノヲ、常潮流ト謂ヒ、赤

道及ビ兩極ノ洋中ニアルモノヲ、赤道潮流兩極



日本地誌略 卷之七 地理總論 十七

潮流ト謂フ、又

時アリテ海洋

中ニ生ズル、モ

ノヲ、一時潮流

ト稱ス、

湖トハ、周圍ニ

土ヲ繞ラス水

ニシテ、平地或

ハ山上ニアリ、

我邦ニテ顯ル

ルモノハ琵琶湖及ビ猪苗代湖等ニシテ其海外ニアリテ著キモノハ亞細亞ノ貝加爾湖歐羅巴ノ維達湖拉多加湖亞米利加ノ密齊安湖安達略湖等ナリ

江河トハ其源ヲ山中或ハ湖ヨリ發シ陸地ノ間ヲ流ル、水ヲ謂フ、世界ノ大河ハ亞米利加ノ密士必秘河亞摩孫河亞非利加ノ尼羅河亞細亞ノ揚子江葉尼塞河黃河等ニシテ歐羅巴ニ於テハ多腦河ナリ又我邦ニテハ信濃川ヲ大ナリトス人之部

人種ノ區別

五大洲中ノ人民大略十一億餘アリ其人種ヲ區分シテ五種トス即チ高加索種蒙古種埃地阿伯克種馬來種亞米利加種是ナリ

高加索種ハ皮膚白皙ニシテ頭顱圓ク眼睛碧色ナリ歐羅巴及ビ亞細亞ノ西部北亞米利加ノ北部ノ住民等之ニ屬ス

蒙古種ハ膚色橙黃ニシテ顔面平廣眼睛褐色ナリ亞細亞ノ東部歐羅巴ノ北部等ノ人民之ニ屬ス

埃地阿伯克種ハ前額側退シ皮色ハ眼睛ト共ニ深黒ナリ亞非利加澳太利亞ノ土人皆之ニ屬スカリスメラ馬來種ハ顛頂稍狭ク皮膚黃褐ニシテ頭髮多シ印度諸島馬來半島ノ土人ハ之ニ屬ス亞米利加種ハ其皮膚帶黒赤色ニシテ恰モ銅ノ



如ク眼目陷リテ顴骨高シ亞米利加ノ土人ハ皆此種ナリ

此人類五種ノ區別ハ元判然タレ凡兩種相混交シ又其子孫他種ト混ズルカ或ハ其住居及ビ衣服飲食物ノ異ナルニ由リテ終ニ彼是相辨別シ難キニ至ル者アリ

言語

右ノ人民五大洲ノ各處ニ相集住シテ部落邦國ヲ成ス現今著名ナル邦國凡三十有餘其他ノ小國部落尚多シ蓋シ言語ハ其初メ各地各異ナリ

シガ各部ノ人民互ニ交通スルニ從ヒ、相混合シ、又人事ノ漸ク開クニ從ヒテ、其數増加スレ、年久レキニ從ヒ、次第ニ轉化シテ、古語ヲ用井ザルニ至ルヲアリ、今世界言語ノ種類ヲ區別スルハ、其數大略八百種アリトス、又語法ノ脈絡及ビ言語ノ同異ニ由リテ、其人種ノ由リ來ル所及ビ古代互ニ相交通セシヤ否ヲ徵知シ得ヘキナリ、

文字

言語ニ代用スル文字ヲ、大別シテ二類トス、甲ハ一字ヲ以テ、一語或ハ一物ヲ表ス、即チ支那文字是ナリ乙ハ一字ヲ以テ、一音ヲ徵シ、其數字ヲ連綴シテ、一語或ハ一物ヲ表ス、即チ歐米諸洲ノ文字ノ如キ、皆是ナリ、我日本邦ノ如キモ、最初ハ假名ニテ、一字一音ヲ徵セシガ、中古以來、支那文字ヲ併用シ、近世ニ至リテハ、西洋文字ト、三様兼子用文、

教法

各國皆其尊崇スル、諸種ノ教法アリ、其種類ヲ大別シテ、二類トス、甲ハ多種ノ神、即チ日月山川、其他鬼神ノ偶像ヲ作りテ、之ヲ祀ル、神道儒教佛法

等ニシテ、乙ハ一種ノ神即チ造物主ノミヲ祈ル
モノ、亦別レテ、猶太教耶蘇教回々教等アリ、其甲
乙共ニ其門派ノ支分尚多シ、而シテ、甲ハ亞細亞
洲ノ東北部ヨリ、亞非利加亞米利加ノ内地及ビ
阿西阿尼亞新西蘭等ニ行ハレ、乙ハ歐米諸洲ヨ
リ、亞細亞ノ西部亞非利加ノ東部ニ蔓延セリ、

習俗

土地ノ形勢及ビ氣候ノ各異ナルニ由リテ、各地
人民ノ衣食住并ビニ職業モ亦相同ジカラズ、
北極圏ニ近キ地方ノ民ハ羽毛ヲ被リ、僅ニ魚鳥

及ビ海獸ヲ捕食シテ土中ニ穴居シ、熱帶地方ノ
民ハ別ニ衣服ヲ要セズ、僅ニ草木ノ皮葉等ヲ以
テ其前後ヲ蔽ヒ、自然ニ産スル果實ヲ食ヒ、樹木



野蠻ノ圖

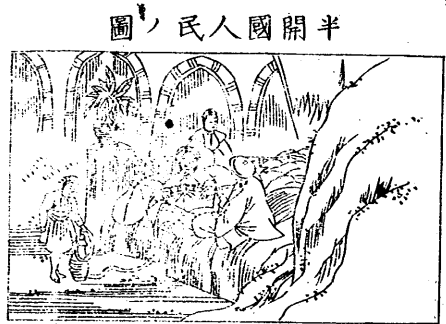
ノ空洞ニ棲息シテ、漁獵耕作ノ
業ヲモ營マズ、共ニ慓乎トシテ、
禮義廉恥ヲ辨知セズ、此ヲ野蠻
ト稱ス、亞非利加ノ黑奴及ビ澳
太利亞ノ土人等ノ如キ、是ナリ、
又稍暖帶ニ近キ地方ノ民ハ獸
類ヲ牧畜シ、水草アル所ニ轉徙

シテ一定常住ノ家屋ナク帳幕ヲ張リテ其中ニ居リ或ハ半ハ農業ヲ勉メテ僅ニ陋隘ノ茅廬ヲ構ヘテ之ニ居ル者アリ其衣服ハ極メテ麁惡ナルモノヲ着ル此ヲ未開ノ民ト謂フ即チ亞刺比亞阿富汗及ビ亞非利加北部ノ土人ノ如キ皆是ナリ

温帶地方ノ民ハ概子絹布綿布麻布毛布等ヲ着肉類穀類及ビ果蔬ノ類ヲ食ヒ皆定住ノ家屋ヲ



圖ノ民人國未開



圖ノ民人國半開

建設シテ其中ニ住ミ農工商ノ業ニ勉勵シ文學技藝ヲ講習シ禮義ヲ重ンズ然レ凡其習俗或ハ惟古ヲ貴ビ今ヲ賤ミテ其智識未ダ全ク開達セザル者アリ此ヲ半開ノ民ト謂フ支那土耳其波耳西亞等ハ之ニ屬ス又其學藝大ニ進ミ益新理ヲ推

建設シテ其中ニ住ミ農工商ノ業ニ勉勵シ文學技藝ヲ講習シ禮義ヲ重ンズ然レ凡其習俗或ハ惟古ヲ貴ビ今ヲ賤ミテ其智識未ダ全ク開達セザル者

圖ノ民人國文明開



窮シテ舊習ヲ洗脱シ、智識愈開ケ、産業盛シニ行
ハレ、法令明正ナルモノアリ、之ヲ號シテ文明開
化ト曰フ、英吉利佛蘭西獨逸北亞米利加ノ合衆
國ノ如キヲ其最トス、

國土ノ區別及政體

五大洲中ノ邦國、其國體ヲ區別スルモ、帝國主
國共和國及ビ公國侯國等アリ、
帝國トハ、日本支那等ノ如ク、帝ト稱スル君主ア
リテ、其國ヲ統御スル者ヲ謂フナリ、
王國トハ、以太利普魯西ノ如ク、王ト稱スル君主

アリテ、一國ヲ管理スル者ヲ謂フナリ、
共和國トハ、亞米利加ノ合衆國ノ如ク、國中ノ賢
者ヲ公撰シテ、大統領トシ、之ニ國事ヲ委任スル
者ナリ、

公國及ビ侯國ハ、日耳曼聯邦ノ如ク、公或ハ侯ト
稱スル君主アリテ、國ノ一部ヲ管理スル者ナリ、
各邦國、道省州縣等ノ區別アリテ、以テ相統轄ス、
其君主ノ居ル所及ビ政務ヲ司ル所アリテ、人民
ノ輳集スル地ヲ、都府城邑ト謂フ、
政事ノ體裁モ、亦相同ジカラズ、今之ヲ大別シテ、

君政貴顯政民政ノ三種トス、而シテ君政ニ又君主限權君主專權ノ差別アリ、

君主專權ハ、政權全ク君主ノ掌中ニアリテ、人民ノ生命及ビ財産モ、猶專ラニ制理與奪スルヲ得ルモノナリ、

君主限權ハ、憲法ヲ定メ、君主ノ權ヲ制限シテ、民撰議院ト政權ヲ分チテ、共ニ庶務ヲ施行スル者ナリ、

貴顯政治ハ、國中ノ貴顯數員ニテ、政權ヲ掌握スルモノナリ、故ニ、其實ハ、君主專治ト、大異同ナシトス、

民政ハ、即チ共和政治ニシテ、所謂大統領ナル者、年期ヲ限リテ、政府司宰ノ職ニ任ジ、上下議院ト共ニ事ヲ爲スモノナリ、

日本地誌略
萬國地誌略
首卷
地理總論終

萬國地理略言 地理約言

明治十五年一月三十日版權免許
同 年四月出版

定價拾貳錢

出版 文學社

東京馬喰町三丁目一番地

滋賀縣士族

編者 小林義則

東京日本橋通三丁目 丸家善七

大塚赤羽通 丸家善藏

北區寶町 丸家善吉

神保町 丸家善八

同查丁目 師岡屋伊兵衛

東京芝神田前 和泉屋市兵衛

同馬場 森屋治兵衛

同馬場 製本所 師岡屋伊兵衛

横濱辨天通一丁目

發兌書肆